

# 令和4年11月 高原町教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 令和4年11月16日(水) 9時30分～10時50分
- 2 場 所 高原町中央公民館 2階第1会議室
- 3 議事日程
- 第1 議事録署名委員の指名
  - 第2 教育長報告
  - 第3 議 事
    - 報告第36号 高原町通学路合同点検対策会議について
    - 報告第37号 高原町小中一貫教育校準備委員会について
    - 議案第12号 20歳を迎える方を対象とした式典の名称について
  - 第4 その他

- 3 出席委員
- |      |      |       |  |
|------|------|-------|--|
| 教育長  | 西田次良 |       |  |
| 教育委員 | 福丸幸治 | 後藤良文  |  |
|      | 温谷一浩 | 有水りえ子 |  |

- 4 欠席委員 なし

- 5 事務局
- |       |       |        |       |
|-------|-------|--------|-------|
| 教育総務課 |       |        |       |
| 課長    | 中別府和也 | 対策監    | 武田透   |
| 課長補佐  | 江田雅宏  | 係長     | 小久保洋平 |
| 係長    | 山下浩樹  | 会計年度職員 | 西川藤子  |

## 6 会議内容

### ◎開会

9時30分

西田教育長

- 【1 開会】  
開会を宣告する。

西田教育長

- 【2 日程第1 議事録署名委員の指名】  
議事録の署名人に、西田教育長と有水委員を指名する。

西田教育長

- 【3 日程第2 教育長報告】  
新型コロナウイルス感染症の状況が、あとで詳しく報告致しますがしばらく沈静かと思っていたところですが、第8波の声が頻繁に聞かれるようになって、じわりじわりと波が押し寄せてきているかなと感じています。先週の11日に小林、えびの西諸圏域が赤圏域になったと

思いましたら次の日の12日には、都城北諸も赤圏域、気づいてみると全県下が赤圏域あまり意識していないうちに、また元に戻ったかなという感じです。国も県もかなり警戒しているのですが、行動要請はしないということでもあります。専門家は第7波の26万人を超えるのではないかと予想しています。

もう一つ気になっているのがインフルエンザの同時流行なのですが、去年も実は心配していたのですが流行は無く、今年は非常に可能性が高いということで、すでに先に冬を迎えた南半球は流行が始まっていて、北米のほうでもインフルエンザ流行が始まったということで、確実に来るのではないかと。政府は同時流行のピークには75万人を超えるのではないかと言っています。学校の方にも注意喚起をしました。私も早速インフルエンザ予防接種の予約をしてきました。皆さんも気を付けていただきたいと思います。

まず、学校教育です。報告事項の最初に書いてありますが、一か月前に、高原小学校と狭野小学校の運動会がありました。天気を心配していたのですが、秋晴れのいい運動会日和でした。午前中の短縮プログラムで行ったところですが、大きな学校、小規模な学校それぞれの特性を活かしたプログラムの工夫があって、子供たちも優勝にむかって一生懸命、競技や応援に取り組んでいました。先生方の一体感も感じられました。

10月26日に、後川内小学校の学校訪問があり、委員さん方にも出席していただき、知徳体の教育課題の解決に向けての現状、そして今後の対策について協議をされました。指導主事の評価も良くて、よく学校運営ができているなと感じました。

それから11月2日に広原小学校の一貫教育授業研究会がありました。「一人一人に寄り添う、わかる、できる授業づくり」ということで、それとICTの効果的な活用についてということで授業研究がありました。広原小学校に町内全職員が集まり4つの授業で、4部会に分かれて研究会を行って非常に活発な意見交換がありました。

学校訪問については、3年前から定例の学校訪問に3校行っています。今年は、後川内小・中学校と最後となる高原小学校が11月30日に予定しています。この3校が定例訪問で、他の3校のうち2校が一貫教育の授業研究会で残りの1校が狭野小なのですが重点支援校訪問ということで、それぞれの学校が毎年輪番制で必ずどこかをするというようにしています。あと、この一貫教育授業研究のほうが計画にあるのですが先程申し上げましたが、11月22日に高原中学校が最後になります。町内職員が全員参加するのですが、実は県のICT活用推進モデル校ということで町外からも先生方が来て公開をするということになっています。

次に社会教育関係なのですが、今年は高原秋まつりと日本発祥地まつりを2月に行っていましたが、これが一本化して一つになりました。

夏まつりも延期されまして、花火大会もあわせて実施されました。この日は高原中学校も場所を公開し、高原中学校の生徒全員が登校日としてサポーターとして参加をしました。後川内中学校の生徒も前日準備と当日は東雲太鼓で盛り上げてくれたところです。

高原は天孫降臨の地、神武天皇御生誕の地ということでそのゆかりがあって、今年は宮崎神宮との連携ができ、巫女舞だとか雅楽だとか獅子舞等も来てくれました。連携ということで一週間後の29日に宮崎神宮の大祭の神武様があったのですが、ここにも高原中学校の生徒が御信仰行列に13名参加しました。古代衣装を着て、のぼりをもって4.5 kmあるそうなのですが、市内を練り歩きました。宮崎のメインストリートを私も歩いてみればよかったと思ったところではありますが、高原と宮崎神宮との由来について、生徒がずっとマイクで喋りながら歩いてくれました。

それから、10月19日ですが、通学路合同点検を実施しています。後で詳しく説明申し上げますが、台風14号のために延期してこの日になったのですが、小林土木事務所、小林警察署そして民生児童委員の代表そして関係課、私も一緒に回りました。各学校からあがってくるもの、あるいは民生児童委員さんたちからあがってくるもの等があって、まず皆さんで共有をしてそれから各校、各地区の危険箇所を回っていったところです。これについてはそれぞれの立場から今後、改善をしていただき、また第2回目で確認をするという流れで改善を図っていきます。

10月20日に就学時健康診断を行いました。今年度は62名ということで1名欠席だったと報告がありました。校区で言いますと高原小が42名、広原小学校が10名、狭野小学校が6名、後川内小学校が4名の62名ということで来年入ってくる予定の子供たちになります。今の2年生が63名、1年生が65名なので同じぐらいの数かなと思っています。例年は、地域婦人連絡協議会の方々に子供たちのサポートをお願いするのですが、今年は都合が合わず高原赤十字奉仕団の方々に御協力をいただきまして、子供たちをしっかりと面倒をみていただきました。

中別府課長

(補足説明)

11月11日(金)叙位伝達式とありますが、元広原小学校の校長先生で、もう亡くなられたのですが谷口守一校長先生ということで伝達式を行いました。昭和44年4月から昭和49年3月までは狭野小学校に勤務をされておりました。昭和61年4月から昭和63年3月まで広原小学校の校長先生ということで勤務をされておりました。

11月20日なのですが、第1回高原町健幸駅伝兼第47回高原町選挙啓発駅伝競走大会が開催されます。現在のところ出場チームにつきましては合計で16チーム参加予定です。町内の一般の参加が7チーム、町外の一般の参加が6チーム、小学生が2チームですがこれは町外のスポーツ少年団になります。後、中学生は1チームで高原中の陸上部が出場予定となっています。

有水委員 ～ 質 疑 ～

10月25日に武道指導者委嘱状交付式とありますが、これは部活動関係のことなののでしょうか。もう少しここを説明をお願いします。

中別府課長 ～ 回 答 ～

武道指導者委嘱状交は、朝比奈紀行先生のほうに委嘱状を交付したもので、中学校の弓道授業ということでお願いをしました。後川内中学校のほうへの指導です。毎年お願いをしています。

後藤委員 ～ 質 疑 ～

11月18日木城町新校舎視察とありますが、教育長はじめ何名の方が出席されますか。

中別府課長 ～ 回 答 ～

18日の校舎視察ということで、教育長、武田対策監、学校教育係長、あと学校教育係の担当1名と私の5名で視察に行く予定です。

武田対策監 連絡事項の11月22日(火)一貫教育授業研究会で高原中の授業公開があるのですが、こちらのほうは午後開催ということで14時から受付開始になっています。

11月30日学校訪問、高原小学校があるのですがこちらのほうは、8時学校着で予定はしているところです。以上連絡です。

西田教育長 今、時間等の確認がありました。よろしくをお願いします。

西田教育長 【4 日程第3 議事】

西田教育長 《報告第36号 高原町通学路合同点検対策会議について》

中別府課長 通学路合同点検対策会議につきましては、10月19日に開催したもので、1ページをお開きください。出席者につきましては、小林土木事務所、小林警察署、高原町民生委員、児童委員協議会、町内小中学校の教頭先生、教諭、役場の関係課及び教育委員会となっています。

(資料に基づき説明)

現地調査を行った箇所は以上7箇所となりますが、今後、令和5年2月を目途に、2回目の通学路合同点検対策会議を予定しており、各危険箇所の対応状況等を報告していただくこととしています。

有水委員 危険箇所の中で、横断歩道の前の三角のマークがないのでつけてもらいたいと要請をされたということで、今県内で紅白の横断歩道と三

角マークを赤でマークしているのがあると思うのですが、こないだ免許更新に行った時に講習で聞いた話で、モデル事業的な感じでされているということで交通量が多いとか死亡事故が発生した場所に、小林管内だと押領司病院前と堤で、前に事故があったところと言われたのですが、こういう時に見えにくい場所等にせっかく三角をするのであれば、赤いのを入れた横断歩道表示もできないのかをお願いしてもらえたらいいのかなと思ったのですが、子供たちが通る場所も交通量が少ないと厳しいのかもしれませんが、三角をせっかく設置するのであれば赤のも含めて設置してもらえないかということをお願いしてもらえたらどうだろうかと思いましたので、意見としてあげました。

中別府課長 有水委員からありましたように意見をまた対策会議の中で、お願いしていききたいと思います。

福丸委員 危険箇所については毎年1回の点検ということで、子供たちに周知徹底といったところまた、地域の方々の協力をいただきながらより安全な通学路を確保するというので、今後もお願いしたいなと思います。

私が教育委員になってこんなこと言ったらいけないのですが、冊子付のわかりやすい報告書は初めてなのかなと思います。先月の定例会でお話したのですが、私たちも言われてパッと思い浮かばないところもあって、そこに行ってどこが悪いとか写真で指差しし、提示していただくとするなり入っていくところもあるので、これはまた続けていただきたいなと思います。

どうしても使うところなのでやはり破損したり、老化も出てきますのでそういったところも皆さんで気を付けながら、ちょっとしたことが自転車の転倒等に繋がっていったり、気をつけていても車が出てきたり、特に冬になったので、日の暮れるのも早くなり5時から点灯を心掛けたり、早めの街灯設置等を検討していただけたらいいかなと思います。

温谷委員 ～ 質 疑 ～

この報告書は、各小中学校へ配布されるのですか、もうしてあるのですか。

中別府課長 ～ 回 答 ～

対策会議のほうで、教頭先生のほうに出席していただきましたので一部ではありますが、お渡ししています。

温谷委員 ～ 質 疑 ～

例えばPTA総会などで一部でもいいのですが、こういうのがありますので興味のある方は御覧ください、と言っておくと保護者の皆さんにも参考になると思うので、よろしくお願いします。

あともう一点、横断歩道の設置についてこの決まりは道路交通法で決まっているのですか、それとも県の公安委員会とかですか。

小久保係長 ～ 回 答 ～

横断歩道の設置や信号機等については、公安委員会のほうがするのですが、先程課長の方からも説明があった通り、台数の基準で小林警察署としては一番交通量が多いであろう朝方、通勤する時間帯で台数の確認、一時間で200台程度ないとやはり横断歩道の設置が難しい。

あと道路形状、例えばカーブとかそういったところについては逆に危険になるので、そういう箇所も横断歩道の設置は難しく先程の後川内のほうの説明があったのですが、そこについてはカーブになっているということと台数の基準に満たないため設置のほうに難しいということでした。

有水委員 ～ 質 疑 ～

横断歩道の設置が難しい場合に対して、子供たちに通学の仕方をどう指導していくか、どうやって安全に歩行するかということをやはり指導するなり、なにかしら示していかないといけないのかなと思うのですが。

一応横断歩道では、自動車は必ず止まることというのは義務付けられています。まだ認識不足であったり、また渡ろうとしている人がもう少しはっきり意思表示をする、大きく手をあげて渡りますよとか、特に子供たちにはそのようにしてもらえるように、もう一度学校のほうでも指導してもらえるといいのかなと思うのですが。

また、時間帯によっては通学になると見えにくかったり、中学生でも自転車通学生が横断歩道を渡ったりすると思うのですが、渡るということに対する意思表示をもっとするような指導をしてもらって、運転者にも気を付けるような感じで啓発をしていかないといけないのかなと感じていますので、その指導をよろしくお願いします。

武田対策監 ～ 回 答 ～

年度初めに各学校においては、交通安全教室を開いていて基本的なことの指導はされているのですが、ちょこちょこ指導が必要な場合があります。そういった登校班会というのを、登校班のグループごとに分かれて指導はされています。こういう内容についてもまた、校長会を通じて、全校集会があるのでそこで指導を徹底するようということ、お願いしようと思います。

小久保係長 先程のところの補足で、現地確認した下後川内ところについては3名程度の児童生徒が横断をするみたいで、その際に民生委員さんのほうが現地について対応はしていただいているという話を伺っています。

温谷委員 ～ 質 疑 ～

それは朝だけですか。

小久保係長 ～ 回 答 ～

朝だけです。夕方については、やはり部活動があったり学年によっても下校の時間が違ったりするので。

温谷委員 ～ 質 疑 ～

小学生が3名ですか。

小久保係長 ～ 回 答 ～

はい。小学生が3名という話でした。

西田教育長 《報告第37号 高原町小中一貫教育校準備委員会について》

中別府課長 武田対策監が説明いたします。

武田対策監 (資料に基づき説明)

温谷委員 ～ 質 疑 ～

公募とあるのですが、公募に関しては町内外関係なく募集されますか。

小久保係長 ～ 回 答 ～

公募に関しましては、町内在住の方で他の委員になられていない方、例えば、教育委員をされている方や議員さん、町議会議員はできません。そういった方々を除いた方を募集します。一応18歳以上の方、令和4年11月1日現在。そういった方々を公募しまして15日の区長会、役場からのお知らせと町のホームページのほうに掲載をしまして、応募用紙についてはホームページからのダウンロード、もしくは教育委員会のほうに紙がありますので、そちらのほうで申し込みしていただく形をとっています。

温谷委員 ～ 質 疑 ～

できたら若い方がいいと思うのですが。

小久保係長 ～ 回 答 ～

そのように願っています。

後藤委員 ～ 質 疑 ～

代表区長となっておりますが、今の時点なのかそれとも来年かまた、選挙があり入れ替わりがあると思うのですが、決定すればその人がずっと最後まで4年間続けて代表で出るのか。そこら辺はどうなのでしょう。

ようか。

武田対策監 ～ 回答 ～

今の区長の方にまず協力していただくような運びになります。途中区長が変わったとなりましたら新しい区長の名前に変更するというような形で考えています。

有水委員 ～ 質疑 ～

一応このメンバーに対しては18歳以上の方になるのですが、こないだの子ども未来会議の資料を読ませてもらった時に、子供たちの意見で学校の名前とか跡地をどう利用するかとか、子供たちの意見が載せられていたのですが、それをくみ上げてもらうとすれば校長先生とか、そういう方々から発言してもらって、この委員会、検討会に反映してもらえないだろうかと思像するのですが、子供たちの意見もいい意見だなと思ったのでそのあたりを上手く吸い上げてもらえるような形をとってもらえるのであれば、18歳以上の方で検討してもらうという形でもいいのかとも思うのですが、そのあたりをまた考えていただけたらなと思います。

武田対策監 ～ 回答 ～

今、御指示ありましたように子供の意見を吸い上げるほうが望ましいということでありましたので、また実際に準備委員会で専門部会、総務部会のほうが動き出してきましたら、そういう意見もあったということで対応していきたいとは考えています。

温谷委員 ～ 質疑 ～

委員さん方への報酬はどうなっていますか。

小久保係長 ～ 回答 ～

公務的な方で出席をされる方、校長先生とかそういった方々には報酬は出ませんが、民間の方については町の規定に基づいてお支払いする予定としています

温水谷委 ～ 質疑 ～

出席されない方にはでないということですか。

小久保係長 ～ 回答 ～

当然、出席された方だけにだすような形を取りたいと思っています。

西田教育長 《議案第12号 20歳を迎える方を対象とした式典の名称について》



中別府課長 令和4年10月24日付け、高原町教育委員会から高原町社会教育委員会に対しまして諮問を行いました。

内容として、

- ・20歳を迎える方を対象とした式典の名称につきまして令和5年高原町はたちの集い
  - ・成人を迎える方を対象とした取扱について
  - ・新成人対象のパンフレット等の送付について
- 意見を求めたものです。

(資料に基づき説明)

有水委員 ～ 質 疑 ～

ちょうど変わり目の時とコロナもあって、計画していたことができなかつたり中止になつたりとか、今までの成人式から変わっていく流れが、なかなか担当の方と成人者にとっても、大変な時期なのかなと思うのですが、今現在も来年度に例年の普通の成人式と言われている日時に向けて現在進行形であると言うことでよろしいでしょうか。

江田補佐 ～ 回 答 ～

今度、諮問の答申を受けて決定していただいた名称についての1月5日に式典、催しをしようかと思っている、今の状況でよろしいですか。

10月に1回目の実行委員会を、新しく二十歳になられる方を対象に募ったところ、5名の方々が実行委員会になりたいということで、その方々を登録して実行委員で進めているところです。

11月、明日になるのですが2回目の実行委員会を行うところです。本日議案として挙げさせていただいた名称も含めてなのですが、こちらが御確認いただければ、議案として通ればその名称を使って、明日はサブタイトルを徹底し、投げかけようかなとは思っています。

準備については今度12月に第2回・3回委員会をしまして、1月5日に式典の方をしたいなと思っています。

18歳が成人の年齢ということで民法の改正があり令和4年の4月から変わっています。取り扱いが若干違いますので、例えば成人の誓いとかそういった部分があったのですが、そこをどうするかというのも実行員会の中で話をしているところです。

おそらく、二十歳の誓いというか、確認であります。18歳で成人なのですが、お酒やタバコは二十歳からなので再度確認しよう。そうなるのではないかなと想定はしています。これまでの成人式といった内容とは少し異なるかもしれませんが、こういった催しは実施しようとして計画しています。また、毎年あるように成人式の後の二部構成にしまして、式典と子供たちが作る祝典のほうは、例えばお世話になった先生方のメッセージをまとめるものとか、自分が今何をしているという伝達ですね、舞台に上がって、自分たちの現況、現状を話するよ

うな部分は残していこうと今、実行委員会で提案をしています。

有水委員 二十歳の子たちで、成人式はできないのだけれどどちらはまだ、二十歳の子を対象にしている、新成人であるか18歳が成人となったわけですが、18歳の人達も二十歳の時にそのような流れで今のところはやっていくということでいいですか。どうも18歳といっても自分たちもまだしっかりなじめてない部分もあるので、一応しばらくはこの流れでいくということでよろしいでしょうか。

江田補佐 はい、そのようになります。

西田教育長 【5 その他】

(1) 新型コロナウイルス感染に伴う対応について

中別府課長 (資料に基づき説明)

新型コロナウイルス感染症の状況につきましては、小林保健所管内の人数の公表となっています。10月は一桁台の人数でしたが、11月に入り感染者が増加傾向となっています。県独自の警報につきましては直近一週間あたりの新規感染者数が人口10万人あたり100人を超えたことから、11月5日から感染確認圏域から感染警戒圏域となっています。また、人口10万人あたり200人を超えたことから11月11日から感染警戒圏域から感染急増圏域に引き上げとなっています。

西田教育長 15日と16日の感染者の人数は分からないのですか。

中別府課長 今日はもうでていると思うのですが、また次回の定例会で報告します。

西田教育長 全体を通して、何かありますか。

温谷委員 ～ 質 疑 ～

小中一貫教育校の設計は、今どのあたりまで進行していますか。校舎の建築関係。

中別府課長 ～ 回 答 ～

新校舎につきましては、今教育委員会のほうである程度はまとまったところですが、本日庁舎内の関係課に説明を行いまして、また町長のほうに報告を行う予定です。来月あたりに定例会でお示しができるのではないかと考えています。

福丸委員 ～ 質 疑 ～

2点ほどお聞きします。1点目が不登校についてということで、皆さんもお分りのところもあると思うのですが、コロナ感染での休校だったり、色々ある中で学校に行きたくないという子供さんも増えていると言うことで、高原町の現状もお聞きしたいのですが、その中に新型コロナウイルスの影響だけではないのではないのかと思ったところもあったりして、子供さんによっては学校以外の選択ができたとか、なんとなく行きたくないとか、この環境が慣れたからとか色々考える要因があるのですが、その一方で次にお伺いすることと関係することもあると思うのですが、学校で多忙な時間があって学校の現場が子供の訴えを受け止められない、聞き入れられないそんな時間もないと言うようなこともあるのではないかということをお伺いするところもあるのですが、重い声もあったりするのではないかということもあったり、高原町の現状としての今の子供さんの様子をお聞きしたいということで1点は不登校についてです。

2点目が高原町の学校における働き方改革にお伺いします。2年経つのかなと思います。目的は教職員が本来の業務に集中できる時間、児童生徒と向き合うための時間を十分確保して、質の高い教育を持続的に行うことのできる教育現場を整えるという目標が一つ。

あと一つが、教職員一人一人が充実した職員の生活を送るために、ワークライフバランスを重視し、働きやすい勤務環境を整えるという目標が掲げられているということで2年前にちょうど始まったのではないかなと思っています。その中に色々と項目が盛ってあるのですね。読むと教職員の勤務自体、時間の理解、自動音声による電話対応とか、学校の閉庁の実施とか部活動も先生方が中々休めない、各家庭を犠牲にしながら土日祝日も部活動に邁進しているといったところがあって、そういうことでは働き方改革に準ずる事ではないのかなということで、高原町も地域の方を募集したり、一人の部活の関係の方もいらっしゃるという報告があり、あと学校を支えるスタッフの配置とか、そういった学校の配置するスクールサポーター等を設置するなどの環境を整えてはいると思います。

あと学校行事の見直しとか、例えば卒業式や入学式の時間の短縮とかそういったところも図りながらやっているところはあると思います。そういったところも含めて2年経つのですが、そういった状況を踏まえて今の状態を、できているところ、まだ解決できていないところの報告を兼ねて話を聞きたいです。

#### 武田対策監 ～ 回答 ～

まず不登校についてなのですが、町内も不登校の近況については学校から報告が上がってきています。それを整理したところ、現在不登校9名います。学校での人間関係、学習欲の低下、対話の抵抗、生活の乱れが主な原因となっています。

不登校の児童生徒は、例えばこの建物にあります適応指導教室に通う生徒もいるのですが、ほとんどが家で過ごしているという状況です。

ゲームやYouTube等をしているという児童生徒もいると聞いています。少しでも学校と繋がりが確保できるように、学校としてはチームズというオンラインで連携、連絡を取ったり実際に家庭訪問をしたりして丁寧に対応していただいているところです。

また、不登校を未然に防ぐ対策として教育相談とか個人面談をしたり、スクールソーシャルワーカーという専門の方を呼んだり、スクールカウンセラーと連携したりして悩みを打ち明けにくい児童生徒に対しての配慮もされているところです。それについては以上です。

働き方改革についてなのですが、県内一円宮崎の学校における働き方改革として時間外業務時間が80時間以上ゼロを目指して県下一でも取り組んでいるところです。各学校では職員会議とか行事の推薦とかリフレッシュデーの設定などを行い、働きやすい教育環境を作っているところです。また、ICカードに出退勤の記録を行ったりしています。

また学校の開錠時間を設定するとかいう工夫もされていて、平日の時間外の電話対応については留守電を活用するとか、土日の電話については教育委員会に電話してくれとかいうような形で、学校で対応する事を極力減らすような工夫をなされています。

また、部活動の外部指導者の積極的な活用ということも含めて進めているのですが、最近はICTが学校現場も普及していて、学校にいると文書とか作成するのですが、その辺もホーム文書の作成の効率化ということでパソコン等も使ってできるだけ無駄のないような方法で、子供と向き合える時間を増やすというような工夫をされています。その結果、今は時間外80時間を超える先生方は減ってきています。

福丸委員

ありがとうございます。今後もそういったところの取り組みとか、なかなか難しいですが皆さんで取り組んでいってほしいと思います。

報告連絡相談といったところで、一人にならないチームワークで、今後もそういった学校作り、小学校、中学校、保育所等もひっくるめてみんなで力を合わせて取り組んでいくべきだと思います。

温谷委員

～ 質 疑 ～

今の不登校に関して、小学生が何人、中学生が何人、内訳を教えてください。

武田対策監

～ 回 答 ～

小学生が1名で、中学生が8名です。

温谷委員

～ 質 疑 ～

この不登校の子供は、家の中においてはご飯も食べないとか、元気がないとか、そういったことはないですか。

武田対策監

～ 回 答 ～

そのようなことは聞いていません。

温谷委員 ～ 質 疑 ～

じゃあ、元気で生活しているということですか。

武田対策監 ～ 回 答 ～

はい。

有水委員 ～ 質 疑 ～

就学前相談会というのが、11月10日にあったと思うのですが、小学校に入学する前の保育園児、幼稚園児に対して適応がどうかということの対応で保護者の方から相談があったかどうかをお聞きしたいと思います。

保育園の園長先生と話す機会があり、今4歳5歳児で保育園の時に気づいて適応的な対応した方がいい子供の相談とかがしてもらえるようになったということで、保育園時代から気を付けてあげて小学校に入学するときになるべく少しでも対応が早めに行えるようになったということ、保護者の意識も早くから変わってなるべく義務教育がスムーズに過ごせる対応が早めに行えるようになりました、という話を聞いたので保護者も少しは変化がみられるのか、どうなのか。こういったことが進むことによって学校に入ってから先生たちが対応に苦労することがなく、保育園時代から対応していくということの大切さが今やっと少し動き始めたという話をしていましたので、またそこらへんでお気づきの点がありましたら質問します。

小久保係長 ～ 回 答 ～

4、5歳児検診については、本年度からほほえみ館の方で所管として新しく取り組む事業となっていて、その事業効果については、まだやっていないところなので今後はっきりしてくると思うのですが、確かに当然、入学前の就学時の健診だけでやるよりは1、2年前の4、5歳時健診のほうでも、そういった相談ができれば保育園や幼稚園等と連携して、特に特性のある子供たちについてはきめ細やかな指導ができていけるとは考えているので、そういったことをすることによって不登校とか学習面の悩み等に、対応できるようになるのではないかと期待しているところです。

武田対策監 町の方でも教育支援委員会というのを立ち上げていて、各学校の特別支援の先生とか臨床心理士とか、特別支援学校の先生とかそういう専門的な先生の審査等も対象とする児童のほうを観察して、どのように対応していけば良いかということをお早急にアドバイスできるようなシステム作りがされています。

町の教育委員会に在籍しています調整監のほうも、心配な子供がいましたら園の団体から保育所、園のほうに出向いて観察して、相談等

はないですか、というような形で対応して極力小学校に入る前に、解決につながるような対応をしているところです。

後藤委員 ～ 質 疑 ～

中央校区スポーツ教室というのが随時5、6回掲示されていますが、これは町で指定して行われているのか、また参加対象者等がわかれば教えていただきたい。屋外での競技なのですか。

江田補佐 ～ 回 答 ～

これは、報告事項と連絡事項に載っている分によろしいですか。中央校区のスポーツ教室につきましては、スポーツ推進連絡協議会の事業として各校区に分かれているのですが、後川内校区や狭野校区等があったりするのですが、中央校区高原小学校校区ですね、こちらの校区で実施しているスポーツ教室で内容としましては、ウォーキングで総合運動公園の多目的芝広場の周回コースを利用したウォーキングを実施しているところです。

対象としましては、中央校区に特化しているわけではありませんので、後藤委員ももしよろしければ御参加ください。

ただ、今回非常に多くて40名から50名ぐらい毎回来ていただくというか、ウォーキング趣向なのでしょうね。

後藤委員 ～質 疑～

時間帯は。

江田補佐 ～ 回 答 ～

時間帯は7時から8時までしているのですが、参加賞でラーメンみたいなものも貰えますので、ぜひ参加をお願いします。

温谷委員 ～ 質 疑 ～

夜ですか、朝ですか。

江田補佐 ～ 回 答 ～

夜です。19時です。

西田教育長 次回の定例会は、

令和4年12月22日(木) 午前9時30分～

閉会を宣告する。

議事録署名委員

西田次良

有水りえ子